

知財ビジネス英語力（英語コミュニケーションワークショップ）

ーネイティブ講師（英語）による知財実務ワークショップー

実施日程	第1回：2月13日（水）18：30～21：45 日本弁理士会館 第2回：2月20日（水）18：30～21：45 日本弁理士会館 第3回：2月27日（水）18：30～21：45 日本弁理士会館
受講料	20,000円（税込・テキスト代込）
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 海外代理人や審査官と積極的に英語によるコミュニケーションを取り、そのアウトプットをクライアントや発明部門に提案したい弁理士</li><li>● 海外代理人や審査官とのコミュニケーションに関し、現実と理想にギャップを感じている弁理士</li><li>● 海外特許実務で具体的手続きを行う際に相手方に意図を十分に伝えることに悩んでいる知財実務者</li><li>● 来日した海外代理人とのコミュニケーションのレベルアップを図りたい知財実務者</li></ul>
概要 ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>● 英文明細書作成から出願、そして審査・登録段階までの各フェーズにおいて、的確なインストラクションを英語（文章・会話）で行うことを習得する。</li><li>● ネイティブ講師とのディスカッションを通じて、英語を用いてコミュニケーションを取れるようになる。</li></ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実際の実務シーンにおいて、英語によるコミュニケーションの有用性を知るとともに、英語によるコミュニケーションを活用してアウトプットを提供できるようになる。</li></ul>

<p style="text-align: center;"><b>担当 講師</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p><b>ジョセフ・ファラー</b>米国弁護士（一色外国法事務弁護士事務所）</p> <p>特許出願業務を中心に、幅広く知財案件を扱う。電気および機械分野（特に画像技術、医療機器、工作機械・部品）の技術を専門とし、商標、鑑定、カウンセリング業務も行う。</p> <p>学术界とのかかわりが長く、1984年にフルブライト・ヘイズ・フェローシップにより4年間日本に滞在。1998年の再来日以降、日本に居を構える。日本の特許事務所、米国法律事務所、および個人での業務経験を通して、個人発明家から中小企業、大企業まで幅広いクライアント層の業務を扱う。</p> <p style="text-align: center;">1996年 ニューヨーク州弁護士登録</p> <p style="text-align: center;">2003年 米国特許商標庁弁護士登録</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p><b>宮城 三次</b> 弁理士（一色国際特許業務法人）</p> <p>慶應義塾大学工学部機械工学科を卒業後、株式会社日立製作所を経て、一色国際特許業務法人に入所。機械・電気・ソフトウェアを主たる技術分野とし、特許の権利化業務（国内及び外国）、先行技術調査業務、特許明細書等翻訳業務（英語）に従事。通訳案内業（英語、東京都）の資格を有する。</p> <p>1993年～1994年：米国 Franklin Pierce Law Center（現 Franklin Pierce Center for Intellectual Property, School of Law, University of New Hampshire）にて Master of Intellectual Property コース修了</p> </div> </div>
	<p style="text-align: center;"><b>内容 (予定)</b></p>
<p><b>参考図書</b></p>	<p>Janice Mueller <i>Patent Law, Fourth Edition</i> (2013)</p>

